

## 1月定例記者会見要旨

初めに「親子でつくる給食献立」最優秀賞の給食提供の情報です。

これにつきましては、昨年11月の「龍ヶ崎教育月間」で取り組みの一つとして実施いたしました「親子でつくる給食献立」の優秀賞を市内小中学校の給食で提供するもので、2月13日に中学校、2月17日に小学校の学校給食で提供する予定です。

今年度の「親子でつくる給食献立」は、「茨城の旬を味わう献立」をテーマに募集し、小学校が302点、中学校が599点、合計901点の応募がありました。

全応募作品から、教育の日推進事業実行委員長の教育長をはじめ、給食センターや栄養教諭等関係者が審査を行い、中根台中学校1年生の「伊藤紅樹さん」、お母さんの「真由美さん」親子の作品「茨城風のっぺ汁」を最優秀賞選出したほか、8点の作品を入賞作品とし、先日表彰式を行いました。

最優秀賞の「茨城風のっぺ汁」は、母親の出身地である新潟県の郷土料理「のっぺ」を茨城県産の具材とうまく組み合わせしており、具だくさんで、秋・冬にぴったりの献立になっています。

2月13日には、最優秀賞を受賞した伊藤さんが通う中根台中学校の給食の時間に、私と教育長が伺い、一緒に給食をいただきますので、是非、記者の皆さんも取材いただければと思います。

なお、他の入賞作品につきましても、来月以降の学校給食メニューとして順次、提供していく予定です。

続きまして「公共施設再編成の市民フォーラム」についての情報です。

これにつきましては、公共施設再編成の基本的な考え方やこれまでの取り

組みなどについての、情報提供や意見交換を行うために2月16日に開催するもので、今回で6回目の開催となります。

今回のフォーラムでは、公共施設との関わりが低いとされる若年層の関心を深めるため、大学生・高校生が図書館の有効活用策についてワークショップ形式で話し合い、若者目線でのアイデアを発表します。

若者の利用促進や満足度の向上は、図書館のみならず多くの公共施設が抱える課題です。若者目線での有効活用アイデアを横展開することにより、より幅広い年齢層の方が公共施設を利用するきっかけになることを期待しています。

因みに、今回のフォーラム参加者には参加特典として、「たつのこ産直市場」で利用できる商品券を差し上げる予定です。当日は、市民の皆さんだけでなく、市外の方も参加できますので、より多くの方にご参加いただければと考えております。

次に『まいん「健幸」サポートセンター』のオープンについての情報です。

同センターは、主に高齢者層をターゲットに介護予防や認知症対策のプログラムを提供し、高齢者の健幸寿命の延伸や交流促進を図る拠点として開設するもので、オープンは2月7日となります。

長年「まんが図書館」として親しまれた「市街地活力センターまいん」を改修した施設で、この地区をはじめ、市内の高齢者が、「自分のことは自分でできる」生活をより長く継続し、いきいきと健康に生活できるような施設利用をテーマに設計を行いました。

まいん「健幸」サポートセンターでは、専門のインストラクターなどが介護予防・体力維持に有効な運動プログラムや、認知症に効果的な頭の体操などを定期的に提供します。運営は市内に拠点を置くスポーツクラブに業務委託しており、地域資源の活用という側面も持ち合わせています。

このほか、元気なからだ作り・栄養・認知症に関する講座の開催など、健康教育の推進や、定期的な健康相談なども予定しており、高齢者の「健幸」を多方面からサポートしていく予定です。

2月7日のオープン日には、午前10時から関係者・報道機関向け内覧会を開催し、その後にオープニングセレモニーを行う予定です。

セレモニー後半には、インストラクターによる介護予防体操体験もできますので、多くの報道機関の皆様にご出席いただき、当施設のスタートにあたり、広く周知いただきますよう、宜しくお願いします。

最後に、JR常磐線『龍ヶ崎市駅』誕生に向けた記念イベントなどの取り組みについてお知らせします。

本市では、昨年からJR東日本水戸支社・関東鉄道と連携し、新駅名誕生にあわせたさまざまな記念イベントの企画を練ってまいりましたが、このほど、記念セレモニーや記念切符発売、スタンプラリーなど、イベントの内容が具体化しましたので、お知らせしたいと思います。

本市では、今回のイベントのコンセプトを“駅、マチアワセ”とし、市の玄関口である『龍ヶ崎市駅』に来ると、「街」の色々なモノやコト、人に「出会える」、そのようなきっかけづくりの場づくりをしたいと考えています。

当日は、午前8時からのJR東日本水戸支社及び関東鉄道株式会社による「龍ヶ崎市駅誕生記念切符の発売」を皮切りに、レプリカ駅名標の除幕式や記念品贈呈などを行う「記念セレモニー」、市内4カ所の駅スタンプを集めるとオリジナルクリアファイルもらえる『りゅうがさきステーションスタンプラリー』、「子ども駅長制服」で駅長になりきり、JR東日本水戸支社マスコットキャラクターの『ムコナ』くんや本市マスコットキャラクターの『まいりゅう』と記念撮影ができる「フォトブースの設置」のほか、市商工会・観光物産協会・地元佐貫商店会の協力による物販スペースの設置などを

行います。

今回の新駅名『龍ヶ崎市駅』の誕生をきっかけに、市外・県外の皆さんに利便性の高い本市の位置やその魅力を知っていただくとともに、これに付随した様々な取り組みが、定住促進や交流人口増につながるよう、大いに期待しているところです。